

旧幕臣研究家
前田匡一郎様

～ 旧幕臣について ～

「駿遠へ移住した徳川家臣団」がようやく5巻までたどり着きました。静岡に30年間いた、徳川慶喜の日記があるのですが、静岡には全く公開されず、現在千葉県の松戸にあります。現在徳川関係の本を6冊出版しております。

平成3年に第一巻を出版したのですが、これが評判を呼び、新聞社にも取り上げてもらいました。

現在は、静岡市の歴史講座に登録されまして、年間に20回ほど講話、講演をしております。

徳川家臣団について、皆さん誤解されているのですが、徳川家臣団とは、江戸城で採用された家臣で、当時掛川、浜松、藤枝、沼津にも家臣はいたのですが、これらは今の会社に置き換えると、関連会社にあたり、静岡だけは直系にあたり、株式会社徳川だとすると、静岡出張所にあたります。静岡だけが特殊な関係にありました。

江戸幕府が崩壊し、徳川は「家康の安住の地」静岡に行くしかない、状況になりました。静岡県は非常に特殊な県で、江戸幕府が崩壊し、他の県も同じように内部崩壊しているのですが、江戸城のシステムをそのまま静岡に持ち込んで政治を行っていました。

静岡で政治を行い、全国に先がけて明治元年、現在の銀行、農協のような会社を作りました。また、「静岡学問所」＝現在の東大の前進を作りました。沼津には「兵学校」を作ったのですが、静岡学問所とともに、明治5年新政府により東京に移されてしまいました。



静岡の礎を築いたのが、徳川の幕臣なのです。

出席報告 柏木副委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	10/29	45名	34名	9名	—	2名	80%
前 回	11/ 5	45名	32名	11名	—	(2名)	—
本 日	11/12	45名	29名	14名	68.9%	(2名)	—